

ちよこっと大阪

大和田 昌

「天満天神繁昌亭」

関西の噺家さんが永い間、熱望していた落語の定席天満天神繁昌亭が戦後60年ぶりに復活しました。そのキッカケは元々天神橋筋商店街で落語会を開催することになっていたのですが、その打合せをしているうちに定席の話が持ち上がり、今日の繁昌亭建設の運びとなったのだそうです。噺家さん達にとっては、自分達のホームグラウンドが出来ると云うことで、まるで夢のような嬉しい話であったのではなかったかと思われまます。構想から3年余り、その実現に向けては、上方落語家協会長の六代目桂文枝さんや地元商店主さんらが大層尽力されて、2006年9月15日に北区天神橋筋2丁目にめでたく開席することが出来たのでした。建設用地については大阪天満宮の寺井宮司さんの好意で、境内の駐車場スペースを無料で上方落語協会に提供されたそうです。また建設費は繁昌亭建設募金を設置し、個人や企業から集めた寄付金約2億4000万円で、お上の力を一円も借りずに賄ったと云われています。凄いですね！ 建物は地上3階建て、座席数1、2階の216席、

舞台は檜づくりで舞台正面上部には、惜しくも昨年3月19日に89歳で亡くなられた落語界初の文化勲章受章者であり、人間国宝の三代目桂米朝さんの直筆による「楽」という額が掲げられています。一階客席天井及び建物軒下には寄付をした人々の名前や団体約4500件の名前が書かれた灯入り提灯が吊り下げられていて、寄席囃子と共に華やかな寄席小屋らしい雰囲気を醸し出しています。小屋では落語を中心に漫才やマジック等、ベテランや若手が出演し、開席以来昼夜公演共に連日大勢の人で賑わう大阪北の新名所となっています。



アクセス:大阪市営地下鉄「南森町駅」・JR「大阪天満宮駅」4-B出口徒歩3分
<http://www.hanjotei.jp/access/index.html>